

花ノ本流

— 楽しく実践 —

日本舞踊と学びのひととき

花ノ本流宗家の二代目花ノ本寿さんをお迎えし、日本舞踊「供奴」をお楽しみいただきます。映画『國宝』の冒頭シーンにある「闇の扉」の台詞の言い回しや、先代や宗家が振り付けをされた三次ゆかりの「三次小唄」「もののけ音頭」を体験できるコーナーもあり、日本の伝統芸能に触れる貴重な機会となります。



2026年3月14日(土)

13:00 開場 / 14:00 開演

三次市民ホールきりり サロンホール

料金 1,500円 / 全席自由 スイーツ付

〈ティータイム：13:00～13:50〉

※3歳未満の膝上鑑賞は大人1名につき1名無料。お席、スイーツが必要な場合は有料。

プロフィール

●二代目 花ノ本 寿
花ノ本流十六代宗家

三次市出身の初代花ノ本寿の長男。日本大学芸術学部卒業。公益社団法人日本舞踊協会理事(2025.6月～)日本民俗芸能協会理事。集団・日本舞踊21副代表。日本舞踊協会主催新春舞踊大会、会長賞受賞。舞踊批評家協会新人賞受賞。文化庁・日本舞踊協会・国立劇場などの主催公演のほか、アメリカ・ロシア・マカオ・韓国等国内外多数の舞台出演。「サカナクション」のMVや「TOTO」「SONY」等企業のCM等の振付・出演。ソウル国際舞踊コンクール審査員。日本工学院八王子専門学校非常勤講師。

●花ノ本流

室町時代、連歌を大成した飯尾宗祇(いいおそうぎ)を始祖とし、仏閣の境内の桜の下で興行をしていたことから、花の下(もと)と呼ばれる。以後、俳諧の名人によって名跡が引き継がれ、そして、昭和33年花ノ本寿が十五世を名乗り日本舞踊の流派として再興。

●チケット取り扱い・お問い合わせ

【三次市民ホールきりり】TEL 0824-62-2222

三次市三次町 111-1 (9:00～22:00)

休館日 毎週水曜日、12/29～1/3

●主催

三次市民ホール(指定管理者：(株)ケイミックスパブリックビジネス)

NPO法人きりり倶楽部

◆今回のスイーツ◆

かりんとう饅頭



黒糖を練り込んだ生地でこしあんを包んだ饅頭を、油で揚げて作ります。当朝の作りたてを召し上がっていただきます。

【後藤ベーカリー】
(吉舎)